

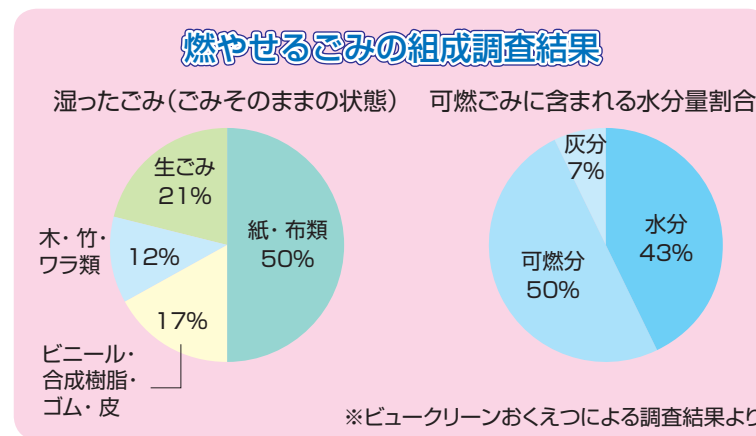
ごみの減量化 リサイクルの徹底を!

～ エコ環境都市を目指した取り組み ～

☎ 生活環境課 (☎88-8104)

燃やせるごみの
約40%は水分

勝山市のごみを搬入しているごみ処理施設「ビュークリーンおくえつ」のごみ質調査の結果、燃やせるごみに含まれる紙・布類の割合は、全体の約半分を占めています。また、燃やせるごみに含まれる水分の割合は、全体の約40%を占めています。



このことから、燃やせるごみの減量化のためには、ごみに含まれる紙類と水分をいかにして減らすことができるかが求められています。

「生ごみ」を
減らすために

燃やせるごみに含まれる水分を減らすには、生ごみの減量が不可欠です。生ごみを減らすために、家庭で手軽にできることは水切りです。キッチンの三角コーナーや排水口にたまった生ごみは、ごみ袋に入れる前に水分を絞るだけで、ごみの減量に大きくつなげられます。調理の際に出る野菜くずや果物の皮は、乾燥させてから捨てるのも有効です。

また、生ごみの減量とリサイクルには「生ごみ処理機」や「生ごみ処理堆肥化容器(コンポスト)」を使用することが有効です。生ごみを減らすことができるだけでなく、生ごみを発酵させて肥料にすることで、家庭菜園やガーデニングなどにも利用できます。



生ごみ処理機などに購入補助新設!

次のものを購入した場合に、補助金を交付します。

申請方法など、詳しくは生活環境課までお問い合わせください。

- ◆生ごみ処理機
購入金額の4分の1以内(上限2万円)
- ◆生ごみ処理堆肥化容器(コンポスト)
購入金額の2分の1以内(上限3,000円)



「紙類」は分別して リサイクル

家庭から排出されるごみで一番多いのが燃やせるごみで、その中に紙ごみがたくさん含まれています。

市では、「紙類」を資源ごみとして、「新聞紙」「段ボール」「その他の紙」「紙パック」の4種類に分別して収集し、リサイクルを行っています。

きちんと分別すれば、「紙類」はごみではなく資源になります。

シュレッダー紙くずの リサイクルがスタート

これまで燃やせるごみとして処理されていたシュレッダー紙くずを、リサイクル業者へ直接持ち込み、紙の原料としてリサイクルする取り組みが、先月から市内の事業所でスタートしています。



市役所でも、3月からこの取り組みを始め、すでに約100kgのシュレッダー紙くずをリサイクルしています。ごみの減量化およびリサイクルの推進のため、事業所の皆さまのご協力をお願いしています。

集団回収で 「紙類」のリサイクルを

市内の約80の地区および団体などが、1年を通じて集団回収に取り組んでいます。集団回収で集めるものは、新聞紙、雑誌、段ボールなどの紙類と古着類です。

市では、集団回収を実施した団体に対して、回収量1kgあたり5円の補助金を交付しています。集団回収の実施を希望される場合は、生活環境課までご連絡ください。



グリーンカーテンで エコライフ

グリーンカーテンを育てて、建物内の温度上昇を抑制し、エアコンなどの電気使用量の削減を目指しましょう。

種から育てるグリーンカーテンの講習会を実施しますので、ぜひご参加ください。

とき▶4月27日(水)午前10時～

ところ▶すこやか 第1会議室

内容▶ゴーヤを使ったグリーンカーテンに挑戦

※お申し込みは、生活環境課まで



「かつやまをきれいにする運動」に 参加しませんか

市では、「かつやまをきれいにする運動」に賛同いただいた地区や事業所などが行う環境づくり活動に対して、清掃用具などの支援を行っています。また、平成23年度は、花苗の購入に対しても補助します(上限2万5,000円)。

この運動の趣旨である環境美化活動に参加していただける地区および事業所などは、ぜひお申し込みください。

対象▶各地区のコミュニティ組織(自治区)、地元企業、各種団体、市民グループなど

条件▶参加団体の構成員の総意に基づき環境宣言を行い、地域の環境美化活動などに計画的・継続的に取り組む団体